

2024年日本平和大会実行委員会ニュースno.2



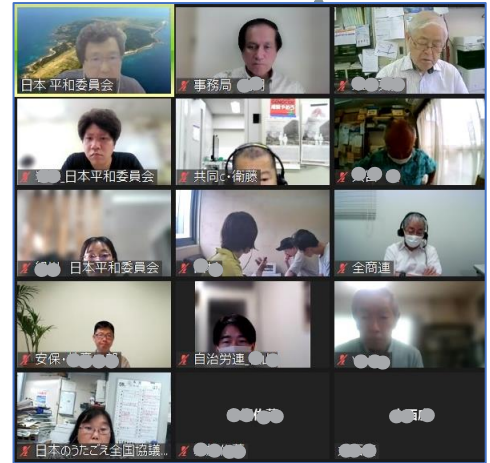
発行:2024年日本平和大会実行委員会(事務局=日本平和委員会内) 2024/7/22
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

開催要項を確認

第3回実行委員会開催

2024年日本平和大会実行委員会は19日、第3回実行委員会をオンラインで開催。衛藤全労連常任幹事の司会のもと、東森安保破棄中央実行委事務局長が開会あいさつを行い、千坂日本平和委事務局長が、主な報告と提案を行いました。

今回の実行委員会は、プログラムや参加費などを含む開催要項(第1次)を確認(別添)。世界大会で配布する第1次チラシの案についても意見交換しました。大会の企画については、全体集会の構想、分科会の内容を討議し、さらに実行委参加団体によるプレ企画の準備状況を交流しました。また、学習パンフの内容と取り扱いについても話し合いました。



2つの視点で成功させよう

東森安保破棄中央実行委事務局長の開会あいさつ

今年の大会の意義について考えると、次の2点が重要ではないかと思います。1つは、日本の平和運動がどのようなメッセージを内外に発信するかということ、もう1つは、戦争国家づくりを許さない世論と運動をいっそう広げる契機にするということです。

1点目について言えば、大会直前の11月5日にアメリカ大統領選挙の投票日を迎えます。新しい大統領の下でアメリカの世界戦略がどうなるか。軽々しく予測はできませんが、もしトランプ氏が当選すれば、ウクライナ問題やイスラエルのガザ攻撃も悪い方向となる可能性があります。日本に対しても、バイデン政権以上に「自主防衛力」を求めてくる可能性があります。こうしたとき、平和大会が発するメッセージが、日本の平和勢力が発するものとして重要な意味を持つと思います。

2点目については、いま進められている「レゾリュート・ドラゴン24」に見られるような大規模な日米合同演習や基地強化など「戦争国家づくり」が岸田政権の下ですすめられています。平和大会が、これらの問題点を明らかにし、それとたたかっている各地の運動を交流し、その発展の契機となるのが重要です。

大事な時期に開かれる大会を成功させるために、諸団体の力を結集しましょう。



多彩なプレ企画を準備中

今年の大会はオンラインのため、大会当日に多彩な分科会を設けることは、技術的にかないません。そこで、実行委員会参加団体がそれぞれの問題意識でプレ企画を設ける準備をしています。現在確定しているのは以下の通りです。

- ▼自衛隊募集問題と自治体：自治労連(10月平日夜予定)
- ▼教科書問題：全教(10月18日夜・予定)
- ▼台湾問題と日本：日中、AALA(11月9日)

そのほか、「核戦争の危機と大軍拡・安保」(仮)を原水協、「全国各地の基地問題の交流」(仮)を平和委が検討中です。確定したものは、順次HP等でお知らせしていきます。